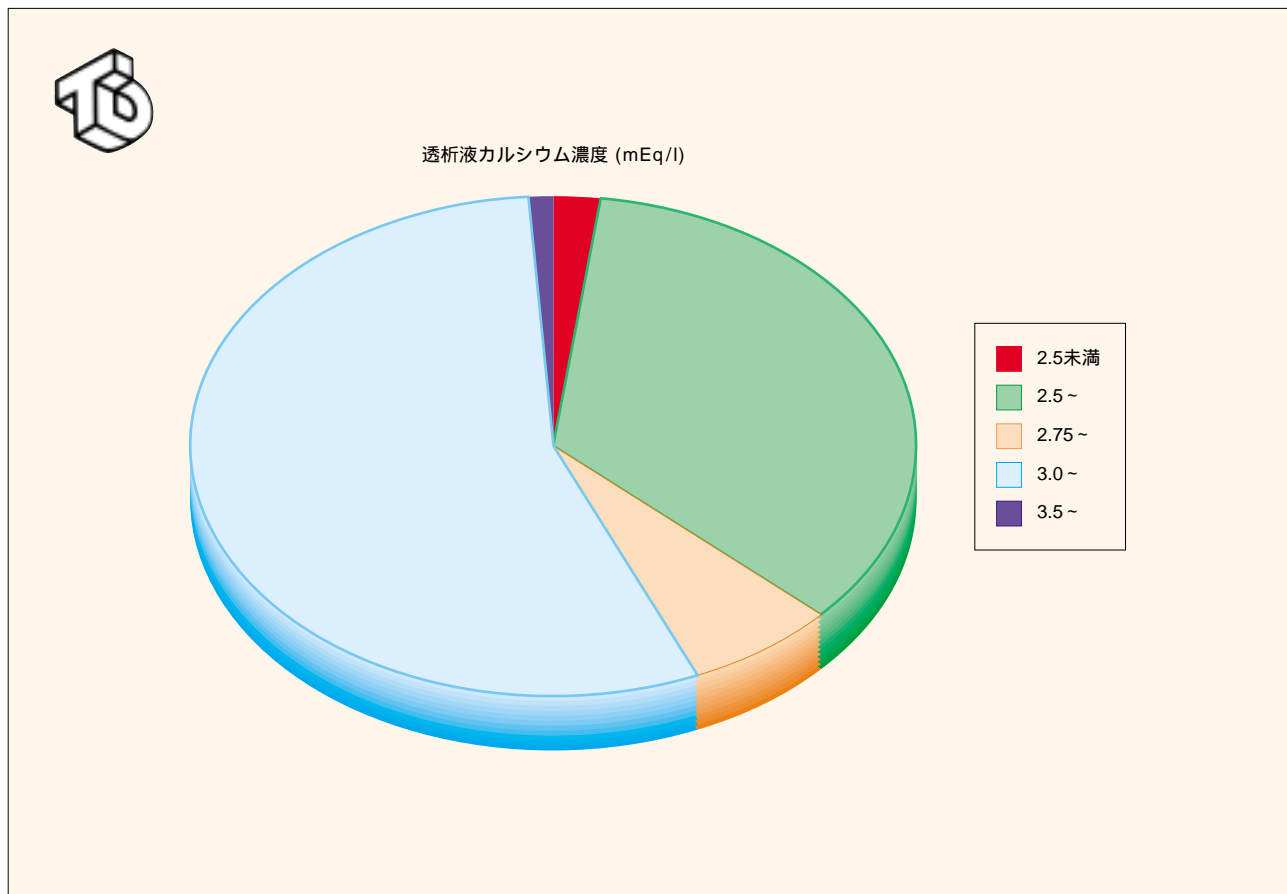


2) カルシウム、リン代謝

(1) 透析液カルシウム濃度 (図表30)



解説

慢性腎不全では低カルシウム血症を呈することが多く、カルシウムバランスが負にならないためには従来より3.0~3.5mEq/lの透析液が使用されています。一方、最近では二次性副甲状腺機能亢進症の治療としてのビタミンD製剤の使用、高リン血症に対するカルシウム製剤の使用などにより高カルシウム血症を呈する症例もみられ、低カルシウム濃度の透析液も使用されるようになってきました。

今回の結果では透析液カルシウム濃度3.0mEq/l以上3.5mEq/l未満が55.4%と過半数ですが、2.5mEq/l以上2.75mEq/l未満も34.7%を占めていました。病態の多様性も反映しますが、最近開発されたカルシウムを含まないリン吸着剤の使用頻度増加などによって今後も変動することが予想されます。